

学校だより

「令和5年度、555名でスタートしました」

校長 保谷 満

1学年5学級・2学年5学級・3学年5学級・6組3学級、計18学級、全校生徒55名で令和5年度の大森第八中学校が始動しました。

4月6日の始業式では、新2・3年生が新しいクラス編成にドキドキしながら登校してきました。体育館で着任式と始業式を行い、新しい学級担任・副担任の先生の発表に一喜一憂しましたが、どの先生に対しても心温まる拍手があって、優しく思いやりのある生徒と生徒のためには全力を尽くす先生方との信頼関係の深さを感じました。

4月7日には入学式があり、167名の新入生が入学してきました。私は校長式辞の中で大きく3つのことを話しました。1つは小学校までに自分の知り得てきたことを初心に戻ってこれからの自分にどう生かしていくのか考えて欲しいということ。

2つ目は自分の頭で考え自身の意見を持ち判断できるようにして欲しい、でも自分の考えだけではなく人の意見も感じとれる広い心を育ててもらいたいということ。

3つめは命を大切にしたいということ。命とは単に生命のことではなく、人の持っている尊厳であり人の魂（ハート）であって、人の気持ちを平気で踏みにじれば人のハートは大きく傷つき、人に対し思いやりの気持ちをもって接すればお互いのハートが喜び、輝くものだという話をしました。また、式典では数年ぶりにPTA会長からごあいさつをいただきましたが、たいへん心のこもったもので大いに盛り上がりました。

4月10日には新入生歓迎会が行われ、吹奏楽部の演奏で入場してきた1年生は緊張しながら照れくさそうな様子でした。しばらくは生徒会役員だけのこの会でしたが、この度ようやく全校生徒が集まって挙行できました。

生徒会役員の歓迎の言葉、新入生代表の言葉、本校の紹介や説明、その後の部活動紹介では各部の様子がスライドで映し出され、各部の代表者は新入生勧誘のメッセージを送りました。最後にクラスごとに違うメッセージ色紙と花鉢贈呈をして幕を閉じました。

生徒会役員のリーダーシップや各部の活気あふれるアピールは、コロナ禍の中で、学校行事や縮小され、生徒の自発的な活動が抑えられてきたことを洗い流してくれたかのようでした。

今後も「学校が何をしてくれるか」ではなく、「自分たちには何ができるか」を考え、自主性、積極性をもって行動できる皆さんであって欲しいと思います。

<令和5年度本校の人事異動等をご紹介します>

1 退職

ホームページへの掲載は差し控えます。

2 転出

ホームページへの掲載は差し控えます。

3 転入

ホームページへの掲載は差し控えます。

4 昇任・職種転換・復職

ホームページへの掲載は差し控えます。

4月の予定

4月6日(木) 始業式	4月19日(水) 小中教育の日 歯科検診(1,6)
4月7日(金) 入学式	4月20日(木) 歯科検診(3) 6組面談終
4月10日(月) 朝礼 写真撮影 給食開始	4月21日(金) 離任式
4月11日(火) 新入生歓迎会	4月24日(月) 生徒朝会 心臓検診(1)
4月12日(水) 身体測定(1・6) 6組面談	4月25日(火) 検尿一次
4月13日(木) 身体測定(2・3)	4月26日(水) 検尿一次追加 校内研修会
4月14日(金) 正式時間割始 保護者会	4月27日(木) 内科検診(1・6)
4月17日(月) 避難訓練 専門委員会	4月28日(金) 区学習効果測定(全)
4月18日(火) SNS講習会 耳鼻科検診(2)	
全国学力調査(3)	